

京都を彩るかたちという—調和する意匠と色彩

会 期 2012年4月14日(土)～2012年6月17日(日)

京都は、平安時代の建都以来、日本の文化が結集した都市です。その文化は、天皇家と公家社会を核とした御所を中心に形成されましたが、それらを支えた京都の町は、今も洗練された意匠や色彩があふれ、いくたびの兵火や災害に見舞われながらも、古都のたたずまいを今に伝えていきます。京都の人びとは、三方を山で囲まれた山紫水明の都市の暮らしのなかで四季を楽しみ、祭事、伝統行事など、折々の節目を大切にしてきました。数々の美術工芸品には、そうした感性や季節感が反映され、優れたデザインと色彩感覚に彩られています。

本展覧会では、日本文化の粋といえる京の様式美を、染織品等の工芸品約130点によって紹介します。意匠や文様、色彩から、京都にとけ込んだ季節感や美意識をお楽しみください。

なお、この展覧会は、高崎市染料植物園で開催される企画展「花拵え—古都の染め和紙と花神饌」(4月28日～6月3日)との連携企画です。

会 場 高崎市タワー美術館 (〒370-0841 高崎市栄町 3-23 電話 027-330-3773)

開館時間 午前10時～午後6時 (入館は午後5時30分まで)

金曜日のみ 午前10時～午後8時 (入館は午後7時30分まで)

休館日 月曜日

※4/28～5/6は休まず開館します

会期中の休館日：4/16・23、5/7・14・21・28、6/4・11

観覧料 一般：500円(400円)、大高生：300円(250円)

- ()内は20名以上の団体割引料金
- 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方、および付き添いの方1名、65歳以上の方、中学生以下は無料となります
- 共通券 高崎市染料植物園の企画展も観覧できる共通券を販売します。一般：560円、大高生：370円

主 催 高崎市タワー美術館

共 催 京都市立芸術大学芸術資料館

協 力 唐紙制作工房 唐長、染司よしおか、財団法人西陣織物館、宮井株式会社

助 成 芸術文化振興基金

後 援 朝日新聞前橋総局、産経新聞社前橋支局、上毛新聞社、東京新聞前橋支局、日本経済新聞社前橋支局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、NHK前橋放送局、群馬テレビ、エフエム群馬、ラジオ高崎

関連事業

- 連携事業「風呂敷の歴史と包み方」 5/13 ～14：00～
- 講演会「現代空間における唐長の唐紙」 5/27 14：00～
- 学芸員による作品解説会 4/14、4/28、5/19、6/9 14：00～